



▲各メーカーのブース展示は今回初

ちいきの総合研究所・大阪府大阪市)は、「木の国産材」(事務局/古川ある暮らし展2017)旅する日本の森と産地」を開催。建材や家具などが展示され産地メーカーと工務店や設計者が直接会う機会となった。

「Clubプレミアム」は、国産木材の情報を積極的にアピールしていく木材メーカー12社で構成。2009年、古川ちいきの総合研究所のマーケティング勉強会をきっかけに発足した。メンバーの吉野かわかみ社中(奈良県)は、吉野杉の節をなくし木目をそろえる育成法を展示。木材の強さと美しさをア

国産材の情報を発信する「Clubプレミアム」(事務局/古川ある暮らし展2017)

ちいきの総合研究所・大阪府大阪市)は、「木の国産材」(事務局/古川ある暮らし展2017)旅する日本の森と産地」を開催。建材や家具などが展示され産地メーカーと工務店や設計者が直接会う機会となった。



古川大輔社長

Clubプレミアム  
国産材

# 国産材の魅力を発信

## 木材メーカー12社でイベント

ピールした。

また、木原木材店(兵庫県)は、杭、足場、鳥居やアスレチック遊具などに使用する丸棒木材を紹介。住宅建材以外での

活用例をPRした。

古川ちいきの総合研究所の古川大輔社長は、「吉野杉などのブランド名に頼るのではなく、その産地に合った売り出し

方を模索すべき」とコメント。施工業者が住宅購入者と産地の地元住民との橋渡し役になるなど、何らかの付加価値が重要だと述べた。